

令和8年度第2回教育研究評議会議事要録

日 時 令和8年5月20日(水) 14時30分から16時40分まで

場 所 事務局棟5階大会議室(主会場)

S-Port3階会議室(Teams)

出席者 日詰、塩尻、金原、佐藤、二又、大石、鈴木、大島、高倉、大橋、吉川、栗井、堀、国京、鎌塚、延原、小西、遊橋、山本、松本、福田、加藤、西村、江口、平井、水谷、原和彦、近藤、今泉、青木、間瀬、小林の各評議員

久保野敦史工学部副学部長(宮原評議員の代理)

小谷真也安全衛生センター長

欠席者 宮原評議員

陪席者 飯田、河島の各監事、中村、原正和、峰野、横田、小野の各学長補佐
森田学長特別補佐

I 前回議事要録の承認

令和8年度第1回教育研究評議会議事要録について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1. カウナス工科大学との大学間交流協定の更新について

栗井委員から、カウナス工科大学との大学間交流協定の更新について、資料1により説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 共同研究講座の設置について

金原委員から、共同研究講座の設置について、資料2により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 学部・研究科等の現況調査表(案)について

大橋委員から、学部・研究科等の現況調査表(案)について、資料3により説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 学生の懲戒について

大島委員から、学生の懲戒について、別紙資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

Ⅲ 報告事項

1. 令和8年度第2回企画戦略会議（令和8年5月11日）報告

議長から、令和8年度第2回企画戦略会議（令和8年5月11日）について、資料4により報告があった。

2. 令和8年春の叙勲について

議長から、令和8年春の叙勲について、資料5により報告があった。

3. 令和8年4月入学 大学院入学者選抜試験実施状況について

塩尻委員から、令和8年4月入学 大学院入学者選抜試験実施状況について、資料6により報告があった。

4. 令和7年度大学間および部局間交流協定について

議長から、令和7年度大学間および部局間交流協定について、資料7により報告があった。

5. 安全管理協議会（仮）の設置について

議長から、安全管理協議会（仮）の設置について報告があり、続いて、小谷安全衛生センター長から、資料8により詳細説明があった。

なお、委員より次のとおり質疑応答があった。

福田委員：委員の構成及び会議開催頻度について伺いたい。

小谷センター長：現在、関係規則を制定中であり、委員構成や開催頻度等については検討を進めているところで、今後、詳細を詰めていく予定である。

間瀬委員：危機管理委員会と安全管理協議会では、業務内容が重複する部分があるように見受けられるが、どのように差別化するのか。

小谷センター長：危機管理委員会は、事件・事故等の発生後に報告を受け、事後対応を行うことを主な役割としている。一方、安全管理協議会は、安全衛生センター等と連携しながら、リスクの芽を早期に把握し、情報管理や部局間調整を通じて、事故等の未然防止を図る役割を担う。

山本委員：各部局等から1名ずつ委員を選出する形を想定しているのか。

小谷センター長：事案に応じて対応することを想定しており、必要に応じて関係する教職員を招集することとなる。また、既存の各種委員会や安全衛生センター等が保有しているデータ・情報を集約し、安全上の課題の有無を確認しながら、必要な対策を講じていく予定である。

間瀬委員：リスク対応に当たり、過剰な事前対応によって教員の負担増につながらないよう配慮いただきたい。特に、研究時間の確保に支障を来すことのないよう留意願いたい。

6. 令和7年度自己点検・評価の結果に基づく改善報告書について

大橋委員から、令和7年度自己点検・評価の結果に基づく改善報告書について、資料9により報告があった。

7. 令和7年度監事業務監査実施結果の報告について

飯田監事から、令和7年度監事業務監査実施結果の報告について、資料10により報告があった。

なお、委員より次のとおり質疑応答があった。

小西委員：静岡大学が抱える課題として、地域のステークホルダーとの関係性、特に浜松医科大学との関係や、大学再編を推進する自治体との良好な関係構築は重要であると考えます。こうした点について、監査結果報告に言及がない理由を伺いたい。

飯田監事：地域のステークホルダーとの関係については、「2. 改善を要望する事項（1）大学改革」の中で、地域との対話ということでは言及している。浜松医科大学との関係については、同大学との連携は「他の高等教育機関との連携」の一つと認識しており、また同大学との法人統合・大学再編に関しては、相手のあることであり本学の意向だけで進められるものではないことから、進捗状況については学長との面談等を通じて確認しているため、全体の要望事項には挙げていない。

8. 令和8年度監事による定期監査の実施計画について

飯田監事から、令和8年度監事による定期監査の実施計画について、資料11により報告があった。

9. 学術論文等の即時オープンアクセス義務化について

小林委員から、学術論文等の即時オープンアクセス義務化について、資料12により報告があった。

なお、青木委員から、学術論文等を年間に多数執筆している研究者もいるため、研究に専念できる環境整備の観点から、研究者の事務負担軽減につながる支援体制の充実について要望があった。

また、委員より以下の質問があり、制度内容等を確認したうえで、後日回答することとした。

Q1：ArXiv上で対象論文を著者最終稿及び根拠データをアップデートした場合、ArXivへのリンクとすることで即時オープンアクセス義務を履行したことになるか。

Q2：即時オープンアクセスにしなかった場合のペナルティはあるか。

10. 令和7年度情報セキュリティ WEB セミナー、個人情報保護及び法人文書管理に関する WEB セミナーについて

議長から、令和7年度情報セキュリティ WEB セミナー、個人情報保護及び法人文書管理に関する WEB セミナーについて、資料 13 により報告があった。

11. 教員採用等報告について

議長から、教員採用等報告について、資料 14 により報告があった。

12. 学長決裁により改正した規則等について

議長から、学長決裁により改正した規則等について、資料 15 により報告があった。

IV その他

1. 令和8年度の「静大フェスタ」について

大島委員から、令和8年度の「静大フェスタ」について、資料 16 により説明があった。

2. 情報学部創立 30 周年記念事業について

小西委員から、情報学部創立 30 周年記念事業について、資料 17 により説明があった。

3. 先端研究基盤刷新事業(EPOCH)への応募について

金原委員から、先端研究基盤刷新事業(EPOCH)への応募について、資料 18 により報告があった。

以 上